

教員の業績				
職名		准教授	学位	博士(心理学)
氏名	カナ	サトウ エミ	役職名	
	漢字	佐藤 恵美		

1. プロフィール	白百合女子大学大学院文学研究科発達心理学専攻博士課程修了 博士(心理学)		
2. 主な担当科目	心理学, 経営心理学Ⅰ、Ⅱ, 心理検査法, 社会心理学Ⅰ、Ⅱ, 認知心理学 専門演習ⅠⅡ		
3. 専門分野	パーソナリティ心理学、発達心理学、キャリア心理学と職業適性、心理測定		
4. 主な研究テーマ	青年期から成人期における職業的パーソナリティ発達とキャリア選択 パーソナリティにおける生理的指標を用いた実験的研究		
5. 主な研究業績	著書	『働く人たちのメンタルヘルスと実務(2016) 分担執筆担当:第7章 ストレスに関する基礎知識』ナカニシヤ出版	
		『現代社会と応用心理学 第4巻』メンタルヘルス・安全(2015) 分担執筆担当:第2章 「働く事の意味とはー職業適性と職場適応ー」 福村出版	
		『ゼロから学ぶ 経営心理学』(2012)第1章 キャリア発達と職業選択、第12章 消費者の心を動かす広告 出版社:学文社	
		『SDSキャリア自己診断テストおよび同利用の手引き』(The Self Directed Search Manual) (2006) 出版社:日本文化科学社	
	論文	The feature of the reaction time for performing personality self-rating. - Conditions by personality trait terms and by sentence - (Co) Japanese Journal of Applied Psychology. 42(special edition) 9-15, 2016	
		A study of the motivation for choosing the university and future job orientation in Japanese University students.(Sw) Global Educational Review.Vol.2,No5.p.23-35.2014.	
		Variance Trend in Reaction Time for Personality Traits - Personality Traits of Version and Emotional Stability - The Japanese journal of Applied Psychology. (Co) 38/Special Edition, 92-100, 2013	
		The experimental study on the relation of reaction time and personality traits -The difference of reaction time by the personality trait terms- The Japanese journal of Applied Psychology. (Co) 34/Special Edition, 72-81 2009	
		A Study of Holland Theory Using the SDS Vocational Aptitude Test. -Utility and application- The Japanese journal of Applied Psychology. (Co) 34/Special Edition, 54-71 2009	
		大学への進学動機と入学後の試験成績からみた学習への動機づけと原因帰属 ソーシャルモチベーション研究(単著)4, 2007	
		学習への動機づけと試験成績の原因帰属が学業成績に及ぼす影響 -学習能力と性格との関連性から- (共著)1, 2007(大学・研究所等紀要)	
	青年期の自己イメージと自己記述語の年代的・発達の变化に関する研究 応用心理学研究 (共著)第31巻 vol.1 p12-22, 2005		
	その他の研究活動	大学への進学動機と将来への職業志向性に関する一研究(共著)56巻,1号,2011(富士論叢)	
中小企業活路開拓調査・実現化事業「地域医療・介護福祉サービスビジョンの構築」報告書 株式会社アルプス ビジネス クリエーション 「地域医療・介護福祉サービスビジョンの構築」報告書 2004年3月 (pp.72-113)			
科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(平成24年度基盤研究C) 「生理・行動指標によるパーソナリティの実験心理学的研究」 2012年4月~2015年3月			
6. 所属学会	日本心理学会、日本発達心理学会、産業・組織心理学会、 日本パーソナリティ心理学会、日本社会心理学会、日本応用心理学会		
7. 主な社会活動、資格、その他	日本パーソナリティ心理学会(各種電子化検討委員会委員)		